

鳥飼基地であわや触車事故?!

訓練中の車両が移動! 03侵入緊急停止!

7月5日、大阪鳥飼車両所西電留線で運転士の養成訓練中の車両（J47編成）が起動し、手歯止めを割損、03信号を受信し緊急停止する事故が発生しました。この事故は、移動してはならない車両（移動禁止合図表示中）が起動してしまい、もし床下で作業を行っていたら、あわや触車事故につながりかねない重大な事故でした。

原因は、指導担当の管理者が、正しい機器の取り扱いを行わなかったために、力行回路が構成され起動してしまったとのこと。この事故に関して、当該の大阪第一運輸所には、指導科長名で「機器取扱い不良」という掲示を貼りだされましたが、社員に詳しい事故概況などは一切説明していません。指導すべき管理者のミスに対して一切口をつぐんでいます。

この間、社員が関係する事故であれば、見せしめ的に乗務が外され、再発防止と称して責任追及と反省が強く求められます。職場に貼り出される掲示にしても、当該社員の過失のみが大きく問題にされ、真の原因究明よりも責任追及が行われ、まさに「さらし者」状態にされています。事故そのものと、その後の会社対応に大きな問題があると考えています。

私たちは、再発防止の観点から、7月8日『申第6号』を会社に提出し協議を求めています。会社は、直ちに労使協議を開催し、事故原因と再発防止のための対策を明らかにすべきです。

1. この車両起動事故が発生した当時の現車訓練の状況を明らかにすること。
2. この車両起動事故の原因を明らかにすること
3. 乗務員（見習い）の現車訓練中の事故といわれているが、運輸所管理者の準備に不備はなかったのか明らかにすること。また、現車訓練を実施する場合、運輸所と車両所とで、どのように打合せ、準備、後検査を行うのか、明らかにすること。
4. この車両起動事故から、会社が採った対策を明らかにすること。
5. この車両起動事故を再び発生させないため、関係職場に原因と対策を明らかにすること。

事故の重大さに鑑み、再発防止のために申し入れ!